

事故などの後遺症で「高次脳機能障害」を抱えている方、その家族の方、一人で悩んでいませんか？

同じような体験をした仲間が集まり、語り合しましょう。

「安心して集まる場が欲しい」「少しの時間だけかもしれないけれど一息つこう」

そんな思いからスタートしました。



## 9月15日 月例会

当事者 5 名、家族 4 名、支援者 3 名の参加でした。初参加の当事者・ご家族の方が 2 名いました。いつものように参加者の近況報告から始めました。

### 理事長

2 カ月ぶりに月例会に参加します。ここ 2 カ月間は、オリパラの芸術文化関連、文化庁の日本博の会議へ出席したり、B 型事業所青い空も特別に招待して頂いたバリアフリー演劇がヘレンケラーに続き星の王子様が出来上がったということで見学に行ったり、タイのカオディーン村の障害のある人の生活の調査やバンコクでの障害者の文化芸術交流事業への参加、共生社会フォーラムのアドバイザーとして動いていました。

高次脳機能障害者は制度の狭間で困っているが、高次脳機能障害が無くてもホームレスなど困っている人は多くいます。高次脳機能障害に対してはいままで通り支援しつつ、それ以外の問題にも目を向けていきたいと考えています。

また、当法人は B 型事業所を運営していますが、仕事だけではなく生活を安定させなくてはなりません。生活を安定させるための安全基地や、仕事を頑張るための何か、、、。現在企画中の高次脳機能障害リハビリテーション講習会でも生活をテーマに進めています。

### 当事者 A さん

先週の日曜にポッチャの大会に出て準優勝できました。障害者になって表彰状をもらうことになるとは思っていませんでした。

### 当事者 B さん

作業をする場より生活をする場の片づけが出来ません。管理人さん手伝ってもらいながら、3~40 分くらい片付けると、自分の中では革新的に変わりました。今は日に少しずつ片づけをしています。ゴミを捨てられないのは言われるまで自覚がありませんでした。そこまで部屋が散らかっているとも思っていませんでしたが客観的に見たらすごい状況でした。捨てる場所を決めることや時間を決めて 1 日 10 分程度やるようにしています。

### 当事者 C さん

20 代で脳出血になりました。今は B 型事業所のカフェで働いています。カフェの合間に階段の練習をしています。

### 家族 A さん

脳出血により右脳が全廃しています。大学を出てこれからというときでした。最初は、命が危ないという状態だったのが、命は助かったけれど寝たきりかもしれないという状態になり、寝たきりにはならなかったけれど車いす生活かもしれないと、、、でも、どんどん良くなるのを見ていると欲が出てきます。

高次脳機能障害の勉強会にも参加しましたが娘の症状と結びつきませんでした。家族会には参加したかったのですがなかなか予定が合わず、、、今回やっと予定が合いました。

### 理事長

家族会には高次脳機能障害者になって 10 年とか、20 年とかの先輩がいます。その人たちの経験談を参考にしてもらいたいです。すべてが解決できる問題ばかりではなく答えが出ないこともあります。「自分たちはこんなことがあったよ」とか「その問題はこんなふうで解決するよ」とか「その問題ははっきり向き合わないといけない」とかみんな意見を出し合って、いろんな問題を乗り越えてきました。

### 家族 B さん

次男が 20 年前に交通事故に遭いました。右の半盲があります。

はじめは「死ぬかもしれない」から「植物人間になるかもしれない」に変わり、だんだん意識が戻ってきて「分からない」ということに気づいていくが、時間がかかります。、、、5 年とか。

### 家族 C さん

いろいろありましたが、今でも良い日と悪い日があります。悪い日だと帰ってきたら部屋に閉じこめることもあります。家族の対応はみんな違って、腫れ物に触るようなつもりで対応しているのは私だけです。

### 理事長

高次脳機能障害の支援において支持を入れるのは 1 人にした方が混乱しません。役割分担をします。

高次脳機能障害者との接し方のマニュアルがありません。現在、研究段階であり、皆さんのエピソードが材料になります。とはいえ、こういった場で皆に言える内容の事ばかりではないでしょうから、言える時が来た時に教えてもらいたいです。

### 当事者 D さん

平成 6 年、14 歳の時に脳出血になりました。脳動静脈奇形でした。動脈と静脈の間に不要な血管があってそこがパンって、、、。

### 当事者 B さん

軽く言ってるけど大変。

### 理事長

20 年選手にもなると違いますね。

### 当事者 D さん

復学しても勉強についていけませんでしたが。高次脳機能障害はあまり知られておらず、病院でも「勉強に関わる部位ではないので、勉強が出来なくなるということはない」と言われ、努力不足と捉えられました。大学に行き教員免許を取りましたが仕事がなく、A 県の A 会社に就職しました。装具が傷んできたので、A 病院に修理に行くと、高次脳機能障害支援拠点センターという大きな看板がありました。そこで検査をして高次脳機能障害の診断がつかしました。

家族 D さん

息子が高次脳機能障害です。昨日、ショートステイから帰ってきて、パソコンをしていました。気分の浮き沈みがあって今は沈んでいるときです。金銭管理が出来ず、「お金を貸して」と言ってきます。働いて貰ったお金は「自分のお金だから」と言って返してくれません。お小遣いの渡し方で困っています。

理事長

息子さんと話したことがありますが、アーティスト気質というか、固執する傾向が強いですね。  
皆さんは、金銭管理はできていますか？

当事者 D さん

金銭管理は以前できませんでした。気付くということが大事だと思います。服薬カレンダーに 1 日分のお金を入れて管理をしていました。

当事者 A さん

金銭管理は全く出来ません。お金を使いたいときに使って、無くなったら嫁に言う。

当事者 E さん

脳梗塞です。B 病院で看護補助者として働いています。障害者職業センターの合同説明会から就職につながりました。言葉が出にくい、言いたいことが見つからない・思いつかない、ということがあります。高次脳機能障害も患っていて、左右が分からない、漢字が書けない、引き算ができないということもあります。

金銭管理、、、お金は使いすぎるといことはないです。



## 当事者・家族の会 ご案内

**月例会ご案内** 日時：10月20日（日）

場所：青い空（参加費：無料）

連絡・相談窓口：NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空

就労継続支援B型事業所 青い空(平日 9:30～17:00)

〒780-8040 高知市神田 462-7

Tel : 088-803-4100 Fax : 088-803-4420

青い空携帯 : 090-9450-2990

E-mail : [npo-aosora@snow.ocn.ne.jp](mailto:npo-aosora@snow.ocn.ne.jp)

URL : <http://blue-sky-kochi.com/>

**女子会ご案内** 日時：10月12日（土）

詳細は和田さんにお問い合わせ下さい。

お問合せ：090-3186-6701（和田さん携帯）

**つどいご案内** 日時：11月23日（土）

場所：つどい処

時間：午前10時～

お問合せ = TEL : 0889-52-2880（つどい処）



## 当事者・家族の会 入会のご案内

「NPO 法人 脳損傷友の会高知 青い空」は、事故や病気で脳を損傷し、その後遺症として高次脳機能障害をもつ当事者および家族に対して、高次脳機能障害についての正しい知識や情報の提供および社会参加を促進するための事業等を行うことで、当事者の日中活動の場を確保し、当事者・家族が安心して生活できる環境を整え、併せて社会の理解を得るための活動を行うことを目的に設立されました。

当会の趣旨、活動にご賛同いただける当事者・ご家族の皆様、市民の皆様、医療・福祉分野で、ご関係のある個人又は団体の皆様、どうか正会員または賛助会員としてご支援いただければありがたく存じます。

・入会金：10,000円（正会員のみ）・正会員年会費：5,000円・賛助会員会費：3,000円

NPO 法人 脳損傷友の会高知 青い空 〒780-8040 高知県高知市神田 462 番地 7

TEL : 088-803-4100 FAX : 088-803-4420

E-mail : [npo-aosora@snow.ocn.ne.jp](mailto:npo-aosora@snow.ocn.ne.jp) URL : <http://blue-sky-kochi.com/>